

平成30年度

北海道大学大学院教育学院

修士課程第2次学生募集要項

平成 29 年 10 月

北海道大学大学院教育学院アドミッションポリシー

教育学院は21世紀の新しい教育像のグランド・デザインの構築、多様な教育問題の解決をめざす研究者ならびに高度な知識とスキルを備えた職業人の育成を目的としています。このため、学の内外を問わず、教育学の学問分野を専攻し、修士、博士の学位を取得しようとする強い意志を持つ学部学生、及び既に学部を卒業して社会で活躍しながら、自己の研究能力のさらなる向上を図り、学位取得を目指す人材を求めています。また、世界に開かれた大学院の観点から、外国人留学生の受け入れも積極的に行っています。社会人と外国人留学生に対しては、修士課程で特別入試を実施しています。

修士課程の入学試験は、語学と専門に関する筆記試験、ならびにあらかじめ提出された「研究課題概要」に基づく口述試験を実施します。なお、社会人入試では、社会人としての経験を重視するとの方針から、筆記試験を免除しています。

博士後期課程の入学試験は、研究能力の判定を重視する方針にもとづき、あらかじめ提出された「研究課題概要」にもとづく口述試験を実施します。

平成30年度 北海道大学大学院教育学院修士課程第2次学生募集要項

1 募 集 人 員

教育学専攻 27名（社会人入試及び外国人留学生入試を含む。）

教育学専修コース 26名

臨床心理学専修コース 1名

2 出 願 資 格

- (1) 大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
*旧大学令による大学を卒業した者及び各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者等
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (9) 平成30年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了又は修了見込みで、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (10) 本学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日現在22歳に達する者（平成8年4月1日生まれを含む。）
*短期大学、高等専門学校及び各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

3 出願資格予備審査

上記「2 出願資格」の(5), (6), (7), (8), (9)及び(10)により出願しようとする者に対しては、別添「出願資格審査要項」により個別に出願資格審査を行う。

4 出 願 期 間

平成30年1月5日(金)から1月11日(木)まで（受付時間は土曜日・日曜日を除く9時～17時まで。）

※ 郵送による場合も期間内に必着のこと。

5 出 願 書 類 等

- (1) 入学願書・受験票・写真票（写真は3ヶ月以内に撮影のものを貼付）、宛名票（本学院所定様式）
 - (2) 卒業（見込）証明書
 - (3) 成績証明書（出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封のもの。）
 - (4) 検定料30,000円：

} 本学教育学部卒業（見込）者は不要
- ①別添の「払込書」の※欄に、志願者本人の住所・氏名（漢字、フリガナ）・電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、銀行（ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。）の窓口で振り込むこと。 ※ATM（現金自動預払機）は使用不可。
- ②「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日付印」を確認すること。「受付局日付印」が押されていないと願書は受理できない。

③「受付局日付印」が押された「検定料受付証明書」を別添の「検定料受付証明書台紙」に貼り付けて提出すること。

④「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」はなくさないよう注意すること。

※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。

①出願しなかった場合

②誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】

北海道大学教育学事務部 教務担当：011-706-3494

(5) 返信用封筒(長3型23.5×12.0cm)に宛名を明記し、372円分(速達)の切手貼付のもの。(受験票送付用)

(6) " (長3型23.5×12.0cm) " 372円分(速達)の切手貼付のもの。(可否通知用)

(7) 研究課題概要：研究課題（研究の目的、明らかにしたいこと）、課題設定に至った経過（研究課題を設定した理由・経緯、関連する研究動向、これまでに行った研究の状況など）、研究の対象と方法（具体的に何を対象にどのような方法で研究を行い、何をいかに明らかにしようとするのか）、参考文献について記述し、次の様式に従い、10部提出すること。

様式：A4判縦長横書き40字30行の用紙5枚以内(厳守)(図表を含む。)。これに、研究題目及び氏名を記した表紙を付けること。パソコンを使用して作成すること。

6 出 願 手 続

入学志願者は、5に掲げる書類等を取り揃え、出願期間内に本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で送付すること。

7 入学者選抜方法

学科試験及び口述試験等により合格者を決定する。

8 試験日時・科目・場所

【筆記試験】

平成30年2月6日(火) 9:30～11:00 外国語：英語

12:30～14:30 専門科目

(1) 外国語試験

英語を必須とする。【英和辞書は試験当日に本学院から貸与する(持込みは不可)】

ただし、平成27年(2015年)10月から出願時までの間に、TOEFL PBTスコア550点以上、TOEFL CBTスコア210点以上、TOEFL iBTスコア80点以上、TOEICスコア660点以上のいずれかを取得している志願者については、申し出(検定証明書又は成績票の写しを提出。複数提出可)に基づき、英語試験の結果と総合して評価する。

(2) 専門科目試験

志願者は指導を希望する教員の専門分野に対応する科目(15ページの指導教員及び専門分野等一覧参照)を入学願書の所定の欄に記入すること。

【口述試験】

平成30年2月7日(水) 9:00～

研究課題概要に基づき、日本語で行う。口述試験の際、本人分を持参すること。

※ただし、口述試験を受験できるのは、筆記試験の基準点を満たした者とする。その受験番号は口述試験当日の午前8時30分に本学院及び人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示する。

【試験場所】 北海道大学大学院教育学院 (札幌市北区北11条西7丁目)

9 合 格 者 発 表

平成30年2月13日(火)午前9時に本学院及び人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示するとともに、本人宛可否を通知する。

※ 電話による照会には応じない。

10 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限(修士課程2年)を超えて一定の期間(上限4年間)にわたり計画的に教育課程を履修して修了することを申し出たときは、審査のうえ、その計画的な履修を認めることが

ある。

申請資格、申請手続等は別紙のとおりである。詳細は、教務担当に問い合わせること。

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。
- (2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。
- (3) 出願書類に記載されている個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用する。
- (4) (3) の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会、②北海道大学教育学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合がある。

12 その他

- (1) 入学料及び授業料
入学料 282,000円(予定額)
平成30年度前期分授業料 267,900円(年額 535,800円)(予定額)
上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。
- (2) 出願書類の受理は、受験票の交付（1月22日(月)の週に発送予定）をもってこれにあてる。
- (3) 入学を志願する者で、身体的条件等により受験及び就学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、申し出ること。
- (4) 出願資格・試験等についての問い合わせは、返信用封筒(長3型23.5×12.0cmに宛名を明記し、82円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛照会すること。
- (5) 出願書類等を請求する場合には、返信用封筒(角2型24.1×33.1cmに宛名を明記し、250円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛請求すること。
- (6) 前年度分の筆記試験の試験問題を、インターネット(アドレス<http://www.edu.hokudai.ac.jp/>)上で公表している。
なお、インターネットの利用が不可能な場合は、封筒に「修士課程入学試験過去問題請求」と朱書きし、返信用封筒(角2型24.1×33.1cmに宛名を明記し、140円分の切手貼付のもの)を同封のうえ、本学院宛請求すること。

平成29年10月

北海道大学大学院教育学院

(連絡先) 〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

北海道大学教育学事務部 教務担当

TEL 011-706-3494, 3083

FAX 011-706-4951

平成30年度北海道大学大学院教育学院修士課程第2次外国人留学生入試募集要項

1 募 集 人 員

教育学専攻 若干名
教育学専修コース 若干名
臨床心理学専修コース 若干名

2 出 願 資 格

次の各号の一に該当し、日本以外の国籍を有し、かつ日本以外の高等学校等を卒業した者

- (1) 大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 主として外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
*旧大学令による大学を卒業した者及び各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者等
- (9) 平成30年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了又は修了見込みで、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (10) 本学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日現在22歳に達する者(平成8年4月1日生まれを含む。)
*短期大学、高等専門学校及び各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

3 出願資格予備審査

上記「2 出願資格」の(4)、(5)、(6)、(7)、(9)及び(10)により出願しようとする者に対しては、別添「出願資格審査要項」により個別に出願資格審査を行う。

4 出 願 期 間

平成30年1月5日(金)から1月11日(木)まで(受付時間は土曜日・日曜日を除く9時～17時まで。)

※ 郵送による場合も期間内に必着のこと。

5 出 願 書 類 等

- (1) 入学願書・受験票・写真票(写真は3ヶ月以内に撮影のものを貼付)、宛名票(本学院所定様式)
- (2) 卒業(見込)証明書又は卒業証書の写
- (3) 成績証明書
- (4) 検定料30,000円:
 - ①別添の「払込書」の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)・電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。 ※ATM(現金自動預払機)は使用不可。
 - ②「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日付印」を確認すること。「受付局日付印」が押されていないと願書は受理できない。

③「受付局日付印」が押された「検定料受付証明書」を別添の「検定料受付証明書台紙」に貼り付けて提出すること。

④「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」はなくさないよう注意すること。

※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。

①出願しなかった場合

②誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】

北海道大学教育学事務部 教務担当：011-706-3494

(5) 返信用封筒(長3型23.5×12.0cm)に宛名を明記し、372円分(速達)の切手貼付のもの。(受験票送付用)

(6) 〃 (長3型23.5×12.0cm) 〃 372円分(速達)の切手貼付のもの。(可否通知用)

(7) 研究課題概要：研究課題(研究の目的、明らかにしたいこと)、課題設定に至った経過(研究課題を設定した理由・経緯、関連する研究動向、これまでに行った研究の状況など)、研究の対象と方法(具体的に何を対象にどのような方法で研究を行い、何をいかに明らかにしようとするのか)、参考文献について記述し、次の様式に従い、10部提出すること。

様式：A4判縦長横書き40字30行の用紙5枚以内(厳守)(図表を含む。)。これに、研究題目及び氏名を記した表紙を付けること。パソコンを使用して作成すること。

6 出 願 手 続

入学志願者は、5に掲げる書類等を取り揃え、出願期間内に本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で送付すること。

7 入学者選抜方法

学科試験及び口述試験等により合格者を決定する。

8 試験日時・科目・場所

【筆記試験】

平成30年2月6日(火) 9:30～11:00 外国語：日本語(日本語で解答すること。)又は英語

(日本語での解答が要求される。)

英語を母語とするものは、日本語を選択すること。

12:30～14:30 専門科目(日本語で解答すること。)

(1) 外国語試験

＜日本語試験＞

[持込可能なもの]

【「母語-日本語辞書」及び「日本語-母語辞書」のみ各1冊持込み可(国語辞典及び電子辞書は不可)】

[日本語能力試験N1について]

平成27年(2015年)10月から出願時までの間に、国際交流基金と日本国際教育支援協会が主催する日本語能力試験N1を取得している志願者については、申し出(検定証明書又は成績票の写しを提出)に基づき、日本語試験の結果と総合して評価する。

＜英語試験＞

[持込可能なもの]

【「母語-英語辞書」、「英語-母語辞書」、「母語-日本語辞書」、「日本語-母語辞書」のみ各1冊持込み可(国語辞典及び電子辞書は不可)】

[TOEFL等のスコアについて]

平成27年(2015年)10月から出願時までの間に、TOEFL PBTスコア550点以上、TOEFL CBTスコア210点以上、TOEFL iBTスコア80点以上、TOEICスコア660点以上のいずれかを取得している志願者については、申し出(検定証明書又は成績票の写しを提出。複数提出可)に基づき、英語試験の結果と総合して評価する。

(2) 専門科目試験

[持込可能なもの]

【「母語-日本語辞書」及び「日本語-母語辞書」のみ各1冊持込み可(国語辞典及び電子辞書は不可)】

志願者は指導を希望する教員の専門分野に対応する科目(15ページの指導教員及び専門分野等一覧参照)を、入学願書の所定の欄に記入すること。

【口述試験】

平成30年2月7日(水) 9:00～

口述試験(研究課題概要に基づき、日本語で行う。口述試験の際、本人分を持参すること。)

※ただし、口述試験を受験できるのは、筆記試験の基準点を満たした者とする。その受験番号は、

口述試験当日の午前8時30分に本学院及び人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示する。

【試験場所】 北海道大学大学院教育学院(札幌市北区北11条西7丁目)

9 合格者発表

平成30年2月13日(火)午前9時に本学院及び人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示するとともに、本人宛合否を通知する。

※ 電話による照会には応じない。

10 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。
- (2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。
- (3) 出願書類に記載されている個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、③授業料等に関する業務を行うために利用する。
- (4) (3)の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会、②北海道大学教育学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合がある。

11 その他

- (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定額)

平成30年度前期分授業料 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

- (2) 出願書類の受理は、受験票の交付(1月22日(月)の週に発送予定)をもってこれにあてる。
- (3) 入学を志願する者で、身体的条件等により受験及び就学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、申し出ること。
- (4) 出願資格・試験等についての問い合わせは、返信用封筒(長3型23.5×12.0cmに宛名を明記し、82円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛照会すること。
- (5) 出願書類等を請求する場合には、返信用封筒(角2型24.1×33.1cmに宛名を明記し、250円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛請求すること。
- (6) 前年度分の筆記試験の試験問題を、インターネット(アドレス<http://www.edu.hokudai.ac.jp/>)上で公表している。
なお、インターネットの利用が不可能な場合は、封筒に「外国人留学生入学試験過去問題請求」と朱書きし、返信用封筒(角2型24.1×33.1cmに宛名を明記し、140円分の切手貼付のもの)を同封のうえ、本学院宛請求すること。

平成29年10月

北海道大学大学院教育学院

(連絡先) 〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

北海道大学教育学事務部 教務担当

TEL 011-706-3494, 3083

FAX 011-706-4951

平成30年度北海道大学大学院教育学院修士課程第2次社会人入試学生募集要項

1 趣 旨

社会人入試は、現職教員および教育関係者の専門的力量的向上、公的機関や企業、各種団体の研修の高度化・多様化の要望、国民の生涯学習への関心の高まりなどに対し、社会の諸分野における人間の発達と教育に関する基礎的研究を通して、それらの社会的諸要求に応えることを目的とする。

2 募 集 人 員

教育学専攻 若干名

教育学専修コース 若干名

3 出 願 資 格

次の各号の一に該当し、出願時に各号の資格取得後2年以上、又は高等学校卒業後6年以上、ないし短期大学卒業後4年以上の社会経験を有する者

- (1) 大学を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
*旧大学令による大学を卒業した者及び各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者又は平成30年3月までに卒業見込みの者等
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成30年3月までに授与される見込みの者
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (9) 平成30年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了又は修了見込みで、本学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (10) 本学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日現在25歳に達する者（平成5年4月1日生まれを含む。）
*短期大学、高等専門学校及び各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が対象

4 出願資格予備審査

上記「3 出願資格」の(5)、(6)、(7)、(8)、(9)及び(10)により出願しようとする者に対しては、別添「出願資格審査要項」により個別に出願資格審査を行う。

5 出 願 期 間

平成30年1月5日(金)から1月11日(木)まで（受付時間は土曜日・日曜日を除く9時～17時まで。）

※ 郵送による場合も期間内に必着のこと。

6 出 願 書 類 等

- (1) 入学願書・受験票・写真票（写真は3ヶ月以内に撮影のものを貼付）、宛名票（本学院所定様式）
- (2) 卒業（見込）証明書（出願資格(2)の志願者は、学位授与証明書）
- (3) 成績証明書（出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封のもの。）
- (4) 検定料30,000円：
 - ①別添の「払込書」の※欄に、志願者本人の住所・氏名（漢字、フリガナ）・電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、銀行（ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。）の窓口で振り込むこと。 ※ATM（現金自動預払機）は使用不可。
 - ②「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、

必ず「受付局日付印」を確認すること。「受付局日付印」が押されていないと願書は受理できない。

③「受付局日付印」が押された「検定料受付証明書」を別添の「検定料受付証明書台紙」に貼り付けて提出すること。

④「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」はなくさないよう注意すること。

※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。

①出願しなかった場合

②誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】

北海道大学教育学事務部 教務担当：011-706-3494

(5) 返信用封筒(長3型23.5×12.0cm)に宛名を明記し、372円分(速達)の切手貼付のもの。(受験票送付用)

(6) 〃 (長3型23.5×12.0cm) 〃 372円分(速達)の切手貼付のもの。(可否通知用)

(7) 研究課題概要：研究課題(研究の目的、明らかにしたいこと)、課題設定に至った経過(研究課題を設定した理由・経緯、関連する研究動向、これまでに行った研究の状況など)、研究の対象と方法(具体的に何を対象にどのような方法で研究を行い、何をいかに明らかにしようとするのか)、参考文献について記述し、次の様式に従い、10部提出すること。

様式：A4判縦長横書き40字40行の用紙5枚以内(厳守)(図表を含む。)。これに、研究題目及び氏名を記した表紙を付けること。パソコンを使用して作成すること。

なお、著書、論文、報告書等の自己の作品があれば1部添付してもよい。添付の作品は返却しないので注意すること。

7 出 願 手 続

入学志願者は、6に掲げる書類等を取揃え、出願期間内に本学院宛提出すること。郵送の場合は、「社会人選抜入学願書在中」と朱書し、「簡易書留」郵便で送付すること。

8 入学者選抜方法

口述試験、研究課題概要等を総合して合格者を決定する。

9 試験日時・科目・場所

【口述試験】

平成30年2月7日(水) 9:00～ 提出された研究課題概要及びその他の出願書類に基づいて行う。

口述試験の際、本人分を持参すること。

【試験場所】 北海道大学大学院教育学院(札幌市北区北11条西7丁目)

10 合 格 者 発 表

平成30年2月13日(火)午前9時に本学院及び人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示するとともに、本人宛可否を通知する。

※ 電話による照会には応じない。

11 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限(修士課程2年)を超えて一定の期間(上限4年間)にわたり計画的に教育課程を履修して修了することを申し出たときは、審査のうえ、その計画的な履修を認めることがある。

申請資格、申請手続等は別紙のとおりである。詳細は、教務担当に問い合わせること。

12 個人情報の取扱いについて

(1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。

(2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。

(3) 出願書類に記載されている個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、③授業料等に関する業務を行うために利用する。

(4) (3)の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会、②北海道大学教育学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合がある。

13 そ の 他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定額)

平成30年度前期分授業料 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

- (2) 出願書類の受理は、受験票の交付(1月22日(月)の週に発送予定)をもってこれにあてる。
- (3) 入学を志願する者で、身体的条件等により受験及び就学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、申し出ること。
- (4) 現に学校等に在職しているもので、現職のまま大学院に入学する者は、入学手続き時(平成30年3月中旬)に所属長が発行する入学承諾書を提出すること。
- (5) 出願資格・試験等についての問い合わせは、返信用封筒(長3型23.5×12.0cmに宛名を明記し、82円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛照会すること。
- (6) 出願書類等を請求する場合には、返信用封筒(角2型24.1×33.1cmに宛名を明記し、250円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛請求すること。

平成29年10月

北海道大学大学院教育学院

(連絡先)〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

北海道大学教育学事務部 教務担当

TEL 011-706-3494, 3083

FAX 011-706-4951

—

平成 30 年度北海道大学大学院教育学院修士課程（第 2 次）出願資格審査要項 （一般・外国人留学生・社会人）

平成 30 年度本学院修士課程（第 2 次）へ入学を志願する者のうち、募集要項中の次の出願資格により出願する者の出願資格審査を、下記により実施する。ただし、今までに本学院において出願資格審査を受けたことがある者は、事前に教務担当宛て申し出ること。

入試種別	出願資格
一般	(5), (6), (7), (8), (9), (10)
外国人留学生	(4), (5), (6), (7), (9), (10)
社会人	(5), (6), (7), (8), (9), (10)

1. 願 書 受 理 期 間

平成 29 年 11 月 24 日（金）から 11 月 30 日（木）まで（期間内に必着のこと。）

2. 出 願 書 類 等

次の書類を取り揃え、上記願書受理期間内に本学院宛て提出すること。郵送の場合は、「大学院入学願書（出願資格審査）」と朱書きし、「簡易書留」郵便で下記住所へ郵送すること。

（〒060－0811） 札幌市北区北 11 条西 7 丁目
北海道大学教育学事務部 教務担当

出願書類等	備 考
① 出願資格審査申請書	所定様式
② 入学願書	所定様式（写真は 3 ヶ月以内に撮影のものを貼付すること）
③ 卒業（見込）証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。
④ 成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封のもの。
⑤ 返信用封筒 1 通	出願資格審査結果通知用：定形封筒 [23.5×12cm] に宛先を明記し、372 円切手を貼付のもの。
⑥ 志望理由及び研究計画についてのレポート	本学院を志望するに至った経緯とこれまでの研究や活動について記載すること。2,000 字以内、A4 版の用紙を用い様式自由。
⑦ 著書、論文、報告書、研究発表資料、活動の成果物等	該当するものがあれば、資料として提出することを認める（2 点以内）。
⑧ 英語・日本語能力を証明するもの	TOEIC 等のスコア等英語について、自己の能力を証明するものがあれば、資料として提出することを認める。 なお、外国人留学生入試受験希望者については、日本語能力を証明するものでもよい。

※上記⑥～⑧の書類については、出願資格（10）により出願する者のみ提出すること。

3. 出 願 資 格 審 査 の 方 法

提出書類により出願資格審査を行う。ただし、出願資格の（10）により出願する者のうち必要と認めた者については、英語または日本語の試験を行うことがある。

4. 英 語 ・ 日 本 語 試 験

平成 29 年 12 月 8 日（金） 午後 3 時 30 分～

5. 英 語 ・ 日 本 語 試 験 場 所

北海道大学大学院教育学院（札幌市北区北 11 条西 7 丁目）

6. 出願資格審査の結果

出願資格審査の結果は、本人あて郵送により通知する。電話による問い合わせには応じない。

7. そ の 他

出願手続後は、書類の変更は認めない。なお、提出された書類は一切返還しない。

8. 修士課程選考試験の受験について

本審査により出願資格を認められた者は、平成30年2月6日（火）及び2月7日（水）に行う修士課程の選考試験を受験することができる。この選考試験を受験する者は、検定料30,000円を郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行の窓口で振り込みの手続きをした上で、「検定料受付証明書」及び受験票、写真票、宛名票、返信用封筒2通、研究課題概要を平成30年1月5日（金）から1月11日（木）までに、本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で送付すること。

指導教員及び専門分野等一覧

【教育学院】

平成29年10月13日現在

専修コース	講 座	教 員	専 門 分 野	専 門 科 目	備 考
教育学	学校教育論	教 授 浅 川 和 幸	生徒指導論	生徒指導論	
		教 授 大 野 栄 三	教育方法学	教育方法学	
		准教授 大 竹 政 美			
		教 授 横 井 敏 郎	教育行政学	教育行政学	
		准教授 北 村 嘉 恵	教育史	教育史	*
		准教授 近 藤 健 一 郎	学校史	学校史	
		准教授 篠 原 岳 司	学校経営論	学校経営論	
		准教授 白 水 浩 信	教育思想	教育思想	
	生涯学習論	教 授 宮 崎 隆 志	社会教育学	社会教育学	
		准教授 飯 田 直 弘	比較高等教育論	比較高等教育論	
		准教授 辻 智 子	青年期教育論	青年期教育論	
		准教授 光 本 滋	高等継続教育	高等継続教育	
	教育社会論	教 授 上 原 慎 一	産業教育	産業教育	
		教 授 小 内 透	教育社会学	教育社会学	
		教 授 松 本 伊 智 朗	教育福祉論	教育福祉論	*
		准教授 鳥 山 ま ど か			
		准教授 亀 野 淳	職業キャリア教育論	職業キャリア教育論	
		准教授 駒 川 智 子	職業能力形成論	職業能力形成論	
	教育心理学	教 授 守 屋 淳	学習・授業論	学習・授業論	
		准教授 伊 藤 崇	言語発達論	言語発達論	
		准教授 川 田 学	乳幼児発達論	乳幼児発達論	*
		准教授 河 西 哲 子	視知覚認知過程論	視知覚認知過程論	*
		准教授 加 藤 弘 通	発達心理学	発達心理学	
		准教授 関 あ ゆ み	学習神経心理学	学習神経心理学	
	健康教育論	教 授 水 野 眞 佐 夫	体力科学	体力科学	
		准教授 山 仲 勇 二 郎	時間生物学	生活健康学	
		准教授 柚 木 孝 敬	運動生理学	運動生理学	
	身体教育論	教 授 池 田 恵 子	身体文化論	身体文化論	
		准教授 阿 部 匡 樹	身体運動支援システム論	身体運動支援システム論	
		准教授 石 岡 丈 昇	体育社会学	体育社会学	
		准教授 厚 東 芳 樹	身体教育学	身体教育学	
		准教授 保 延 光 一	身体運動科学	身体運動科学	
	多元文化教育論	教 授 寺 田 龍 男	比較言語文化論	多元文化教育論	
		教 授 長 野 督	外国語教育学		
		准教授 青 木 麻 衣 子	比較教育学・言語教育政策		*
		准教授 ジェフリー・ゲーマン	教育人類学		
		准教授 土 田 映 子	アメリカ地域研究		
臨床心理学	臨床心理学	教 授 安 達 潤	特殊教育・臨床心理学	臨床心理学	
		教 授 松 田 康 子	障害者臨床心理学		
		准教授 岡 田 智	発達臨床論		
		准教授 渡 邊 誠	教育臨床心理学		

※ 1. 各教員の研究内容等の詳細については、HPまたは大学院入学案内等を参照してください。

※ 2. 備考欄に*を付した教員は、平成30年度に研究のため長期不在となる期間があるので、これらの教員を指導教員として希望する場合は、必ず事前に当該教員に相談してください。